

非母語話者と母語話者の会話における母語話者テキスト入力の研究

Study of native speaker's text input in the conversation

with non-native speaker

学籍番号：201621650

氏名：宋 曉宇

Xiaoyu SONG

近年、世界中のグローバル化が進みつつ、国境を越える人の移動が活性化され、第二言語話者を含むコミュニケーションの機会が増加している。第二言語話者を含むコミュニケーションとは共通言語を用いる母語話者（以下 NS）と非母語話者（以下 NNS）会話する行為である。NS は幼少期から自然に獲得した言語を話し、それに対して NNS は児童期の初期以降に習得し始める言語で話すため両者の流暢さや言語能力に差があり、効果的なコミュニケーションが困難になる。

NNS を含む第二言語会話を支援するため、NS が会話しながら、会話中の重要な部分や理解しにくい部分をテキスト入力し、それを NNS に共有するという NS テキスト入力手法が提案されている。本論文は、この手法において、入力と発話の関わりを明らかにすることとキーワード入力の会話への効果をより詳細に検討することを目的とした。

ディベートにおける NS テキスト入力実験には、会話中にテキスト提示のタイミングとして発話から平均 2.6 秒遅れること及び入力により会話の形式が変化することを明らかにした。また、入力のある会話を対象としてテキスト入力時と非入力時を分け、話者の発話行動を調べた。入力によって NS の発話行動は変わらないが、NNS の発話行動は変化することが分かった。さらに NNS に文字を見せない条件を追加して自由会話における NS テキスト入力実験を行い、キーワード入力の会話への効果をより詳細に調査した。

研究指導教員：井上 智雄

副研究指導教員：関 洋平